

# マックスバリュ北上



## 補助事業者

マックスバリュ東北株式会社  
 総務・CS部 施設管理課長  
 戸田 鉄雄氏



これまでLEDの導入等、省エネルギー対策を色々と進めてきましたが、今回のBEMSの導入により、削減効果が明確になり、店舗での省エネ意識を更に高めることが出来ました。  
 また、施設全体に加え、照明、冷凍機、空調機等、細かく計測することによって、店舗の負荷ごとの電力トレンドが分かるようになり、管理がし易くなりました。

## 特徴

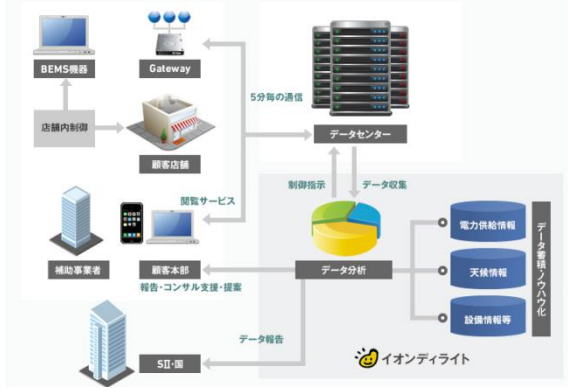
冷凍機コンデンサの運転モード変更をすることで  
 見える化や制御による効果を最大限に発揮

補助事業者	マックスバリュ東北株式会社			
BEMSアグリゲータ	イオンデライト株式会社			
実施場所	岩手県北上市里分4地割77			
事業所概要	建物用途	スーパーマーケット	建物区分	建築物(1棟)
	延床面積	3,153.00 m <sup>2</sup>	竣工年月	2004年10月
	契約電力	332 kW	計測点数	22点
	使用電力量	2,151,644 kWh/年	制御点数	3点(空調・冷凍機)

### Ad-BEMS Felシステム

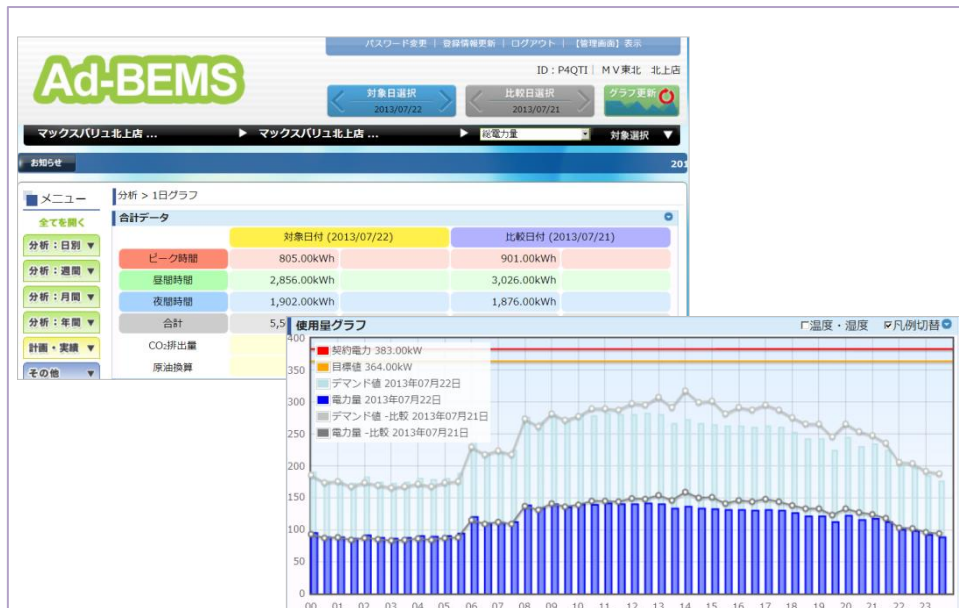
本システムでは、スーパーマーケットという業態の特徴でもある全電力量の多くを占める冷凍機の電力量を個別に測定し、制御を行いました。冷凍機のコンデンサの運転モード変更を併せて実施し、制御以外の削減効果も期待したシステムです。

### 導入システムの特徴



## 導入効果

消費電力量削減目標：前年比-15%、投資回収：0.5年



BEMS導入の前にLEDを導入したこともあり、それらの相乗効果が削減効果に顕著に現れています。年間の電力使用量だけを比べても、2010年度と比べ約12.5%の削減を実現しており、BEMSの最大の目的である「見える化」による効果も含めて、削減効果を最大限に引き出しているといえます。